

目指すまちの姿

1

# 健幸なまち

## 施策の 方向性

## 1-1 「健幸都市 “ウェルネスシティ宇陀市”」の実現

## 1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり

### 1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実

## 1-4 地域医療体制の充実

評価指標		現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
		前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
健康寿命※	男性	82.45歳 (2015年)	82.53歳 (2020年)	84歳	市民一人ひとりが健康を維持することで、健康寿命が向上すると考えます。
	女性	84.80歳 (2015年)	85.20歳 (2015年)	86歳	
1人あたりの 国民健康保険 の医療費	363,735/人 (2017年度)	373,854/人 (2020年度)	全国平均 又は奈良県 平均を下回る		市民一人ひとりが健康を維持することで、長期の入院や治療が減少し、年間医療費を抑制できると考えます。
15歳未満 人口比率	9.14% (2017年度)	8.57% (2020年度)	10.0%		保険・医療・福祉等の連携・充実や地域の協働によるまちづくりによって、子どもを安心して産み、育てられる環境を整えることで、15歳未満の人口比率が向上すると考えます。

\*健康寿命：日常的に介護を必要とせず、健康で自立した生活ができる期間のこと。平均余命から要介護2以上の平均要介護期間を差し引いて計算しています。



SDGs



## 施策の 方向性

## 1-1 「健幸都市 “ウェルネスシティ宇陀市”」の実現

現状

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、感染症に関する情報を提供するとともに、ワクチン接種を実施
  - ▶ 宇陀市の高齢化率は42.1%（2020年国勢調査）で、心身ともに健康で、生きがいを感じながら豊かな生活を送ることができるよう、健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みを実施
  - ▶ 悪性新生物や生活習慣病の予防、早期発見・早期治療のため、がん検診や特定健診、特定保健指導の実施及び受診勧奨
  - ▶ 依然としてなくならない自殺については、うつ病等の精神疾患が関係していること多く、こころの健康づくりを継続的・計画的に行うことが重要
  - ▶ 介護・介助が必要になる要因は、加齢による筋肉の衰えや生活の不活発が大半を占めており、介護が必要となる状態を予防するため、定期的な運動習慣や身近な地域で「住民主体の集いの場」の地域展開を支援

- ▶ 新型コロナウイルス感染症等の予防に対する意識を高め、感染予防対策を自然に実践できるよう周知・啓発を促進
  - ▶ 一人ひとりが、自分自身の健康状態を把握し、日々から健康づくりに取り組むことが重要となることから、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりの支援
  - ▶ 特定健診やがん検診の受診率、特定保健指導の実施率の向上
  - ▶ コロナ禍で外出や他者との接触が制限された状況下でも、ICT等を活用した健康相談や体を動かす機会の創出
  - ▶ 介護が必要となる要因の一つである閉じこもりや、虚弱な状態にある高齢者の把握や、生きがいを持つて生活ができる支援



※1. **悪性新生物**: 悪性腫瘍のこと。細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍です。がんや肉腫等がこれに入ります。

\*2. 特定健診：日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健診です。

※3. **特定保健指導**: 特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、保健師や营养士など専門スタッフが生活習慣を見直すサポートをします。

\*4. 生活の不活発:体力や気力の衰えた高齢者が外出の機会が減ったり、家にいる時間が長くなる状態をいいます。

\*5. ICT: [Information and Communication Technology (情報通信技術)] の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。デジタル化された情報の通信技術であり、インターネットなどを経由して人と人をつなぐ役割を果たしています。

# 目指すまちの姿 1

## 施 策

### ① 新型コロナウイルスなど感染症予防や対策の充実を図ります

- ▶市民に重大な被害を及ぼす新型コロナウイルス感染症の流行を防ぐため、体制の強化
- ▶新型コロナウイルスなど、感染症の発症や重症化を予防するため、正しい知識の情報提供を図るとともに、予防に有効であるワクチンの予防接種の啓発や接種を勧奨
- ▶インフルエンザや肺炎の罹患・重症化を予防するため、65歳以上の高齢者等を対象とした予防接種に対する助成

### ② 健康づくり活動による健幸長寿のまちを実現します

- ▶生活習慣病の予防や重症化予防等の健康づくり活動や講演会等の啓発活動
- ▶健康に対する意識を高め、ライフステージにあわせて病気による早世（65歳未満の死亡）や疾病の予防
- ▶病気の早期発見、早期治療ができるように、国民健康保険加入者に対して人間ドック等の費用の一部を助成
- ▶コロナ禍に対応した、リモートによる生活習慣病の保健指導や健康相談
- ▶地域やボランティア組織など多様な活動主体による食生活を中心とした健康づくり活動を支援するとともに連携を強化
- ▶ストレスや心の悩みを抱えている当事者や家族に対する相談体制の充実を図るとともに、互いに支え合う地域づくり

### ③ 高齢者の介護予防を推進します

- ▶閉じこもりや虚弱な状態の支援を必要とする高齢者を早期に把握することで、介護予防事業等への参加を促進
- ▶運動機能低下の抑制や生活中に運動を取り入れ、要介護状態になることを防止するため、KDBシステム（国保データベースシステム）を活用し、状態の改善や維持、悪化の遅延を図り、生きがいを持って自立した日常生活を送ることができるよう支援
- ▶高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細かな支援を強化
- ▶高齢者の介護予防活動を促進し、地域で自立した生活を送る元気な高齢者の増加を目指し、いきいき百歳体操やいきいきサロン等の通いの場を通した支え合いの地域づくり



#### こんな事業を行っています

- 新型コロナワクチン接種
- がん検診
- 高齢者等予防接種
- ウェルネス運動
- 介護予防普及啓発（レッドコード、健幸ストレッチ、3軽体操）
- いきいき百歳体操補助

#### こんな計画が関連しています

- ウェルネスシティ宇陀市構想
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市自殺対策計画

\*6. KDBシステム（国保データベースシステム）：国保・介護保険の安定的運営を目指した保健事業を推進するため、国保連合会が保険者（市町村等）に提供しているデータ分析システムです。

# 健幸なまち

## SDGs



### 施策の方向性

#### 1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり

## 現 状

- ▶医療的ケアが必要な重度の障がいのある人への日常生活を支援する上で、受け入れ先の確保が難しく、家族への介護の負担が増加
- ▶手話が言語であるとの認識に基づき、市民の手話に対する理解を深め、ろう者が地域や職場で安心して生活できる環境や、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段に対する理解及びそれらを利用するための環境整備
- ▶少子化や高齢化の進行、地域のつながりの希薄化による社会的孤立等の影響により、介護や障がい、ひきこもり、生活困窮等の課題が複合化し、単一の制度のみでは対応が困難であるため、断らない相談支援体制として関係機関と連携を図り、専門性を活かした支援

## 課 題

- ▶高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らるために、誰もが相互に理解を深め尊重し、支え合う意識の醸成
- ▶元気な高齢者が、長年培った知識や経験、技術を生かすことができる機会や場所の創出
- ▶医療的ケアが必要な重度の障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、医療的ケアの充実と居場所の確保
- ▶民生委員・児童委員等の地域福祉の担い手との連携強化や活動しやすい環境づくり
- ▶断らない相談支援体制において、制度につなげるだけではなく社会参加や地域とのつながりに向けた支援
- ▶認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分なことにより、財産の管理や日常生活等に支障がある人を社会全体で支え合うため、成年後見制度の推進

#### 要介護・要支援認定者数と65歳以上人口の推移



\*7. 医療的ケア：日常的に人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等のケアを必要とすることです。

## 施 策

- ① だれもが住み慣れた地域で安心し生きがいを持って暮らせるよう支援します
- ▶ 医療介護あんしんセンターが中核的な機関となり地域包括ケアシステムを推進し、高齢者や障がいのある人をはじめ、だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくり
  - ▶ 認知症対策、介護予防、在宅医療と介護の連携を推進し、介護が必要となった高齢者等のニーズに応じた介護サービスや見守り等の支援を行うとともに、その家族を含めた相談支援体制の充実に向け、医療機関や介護サービス事業者、社会福祉協議会等の連携を強化
  - ▶ 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できるよう、宇陀市シルバー人材センターや老人クラブ等の活動を支援
  - ▶ 障がいのある人が自立した生活ができるよう、相談支援センター等の相談窓口の充実や日常生活・就労など社会参加の機会を促すための障害福祉サービスの充実など、支援体制の強化
  - ▶ 重度の障害のある人の医療的ケアのニーズを把握し、福祉、保健、医療と連携した安心して過ごせる居場所づくり
  - ▶ 障がいの有無にかかわらず、人格や個性を尊重し合えるよう手話に対する理解の促進と普及、また障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の普及・利用促進
  - ▶ 障がいに関する啓発や関連団体の活動支援等により、障がいや障がいのある人に対する理解を深め、地域活動等への参加を支援

## ② 面倒見のいい地域福祉を推進します

- ▶ ひきこもりや生活困窮など複合的な生活課題を抱えた人を支援するために、気軽に相談できる「断らない福祉相談支援体制」の充実
- ▶ 地域福祉の中心的役割を担う社会福祉協議会やボランティア団体等の関係団体との連携の強化
- ▶ 民生委員・児童委員など地域の人たちによる見守りや助け合い活動
- ▶ 生活困窮者の自立を促すために、自立相談支援員や就労支援員による就労準備や家計改善等を行なながら就労に繋がる支援
- ▶ 成年後見制度等の普及や利用促進
- ▶ 虐待予防のための相談体制の充実や発生時の迅速な対応、虐待を受けた子どもや障がいのある人、高齢者等が自立するまでの切れ目のない支援

## ③ 医療費の助成による安心できる暮らしを実現します

- ▶ 子どもや心身に障がいのある人等に対して医療費の助成を行うことで、健康の保持と福祉の増進
- ▶ 不妊や不育に対する治療費、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児の治療に必要な医療費等について助成を行い、経済的な負担を軽減

\*8. 成年後見制度：判断能力が十分でない成年者が、財産管理や身上監護（契約締結・施設や介護の選択）についての契約、遺産分割などの法的行為を行うのが困難な場合などに、それらの人の権利を守るために制度です。

\*9. 地域包括ケアシステム：要介護状態とっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護が一体制的に提供される体制のことです。



## こんな事業を行っています

- (事業は 2021 年度の事業を基にしています)
- 高齢者等見守り支援
  - 福祉医療費助成
  - 不育症治療費助成
  - 認知症総合支援
  - 生活困窮者自立支援
  - 高齢者等サポート隊
  - 断らない福祉相談支援
  - 不妊治療費助成

## こんな計画が関連しています

- ウェルネスシティ宇陀市構想
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市障がい者計画
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- さんとぴあ棒原経営戦略
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画

## SDGs



## 施策の方向性

## 1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実

## 現状

- ▶ 棚原地域の幼保施設は築40年以上経過しているものもあり、老朽化に伴い、施設管理や運用が困難
- ▶ 大字陀こども園等において、今後は計画的な大規模改修が必要
- ▶ 核家族化や地域のつながりの希薄化により、子育ての知恵や経験を家族や地域で共有する機会が減少
- ▶ 発達に気がかりのある子どもや要保護児童、ひとり親家庭など支援が必要な子どもや家庭を専門的、総合的に支援できる体制を整備
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で人との接触機会が減少しており、さらに長期化することで社会的孤立が懸念
- ▶ 結婚から妊娠期、乳幼児期においてそれぞれの過程で切れ目のない支援を行い、子育て世代が安心して育児ができる環境を整備



## 課題

- ▶ 棚原地域における公立幼稚園と公立保育園を包括する、幼保連携認定こども園の整備
- ▶ 仕事と子育ての両立など保護者の多様なニーズに対応した環境づくり
- ▶ いつでも気軽に子育ての相談ができる場の充実
- ▶ 地域ぐるみの活動や世代間交流を促し、地域全体で子どもを育てる活動
- ▶ 発達に気がかりのある子どもへの支援、要保護児童への対応、ひとり親家庭への自立支援の強化
- ▶ 年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うヤングケアラーは、本人の育ちや教育に影響
- ▶ 子ども一人ひとりが可能性を伸ばし、豊かな想像力を育める保育・幼児教育の環境整備と質の向上
- ▶ 安心して妊娠や出産ができる環境を整えるとともに、母親が子育てに不安や孤立感を持たないよう、妊娠期から切れ目のない相談支援や情報提供等
- ▶ 新型コロナウイルスの影響で孤立するリスクが高まっている子育てに悩む保護者への相談体制の充実

## 施策

## ① 保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します

- ▶ 棚原地域で子どもたちが安心して過ごせるよう、幼保連携認定こども園や保護者のニーズに応じた子育て支援施設の整備
- ▶ 仕事と子育ての両立を実現するために、一時預かり保育や病後児保育・ファミリー・サポート・センターの利用促進など、多様な働き方に合わせて柔軟に利用できる子育て支援事業の充実
- ▶ 出産・育児・子育てに関する相談、交流・情報交換等の支援を行う子育て支援センターの機能の充実
- ▶ こども食堂の運営支援など地域で安心して過ごすことの出来る「居場所」づくり
- ▶ 出産時や小学校及び中学校入学を迎える世帯など子育て家庭への経済的な支援

## ② 子どもが健やかに育つよう支援します

- ▶ 子ども家庭総合支援拠点において、すべての子どもとその家庭が抱える様々な問題（虐待・家庭内暴力等）に対して、子育て世代包括支援センター等との連携を図りながら、専門の職員による相談・支援の強化
- ▶ 福祉・介護・医療・教育等といった様々な分野が連携し、ヤングケアラーの早期発見を図り、重層的な支援
- ▶ こども園や幼稚園等で「三つの歳まで」プロジェクトを推進し、成長に応じた質の高い教育・保育の提供
- ▶ 子育て中の保護者と子どもが一緒に過ごせる時間を持つるように、子育て支援センターや図書館等での読書活動や講座等の開催
- ▶ 本に親しむ習慣を育み、幼児の健やかな成長の支援

## ③ 産前産後の支援・乳幼児への支援の充実を図ります

- ▶ 妊婦の健康管理・異常を早期に発見することで、妊婦が安全・安心に妊娠を経過し、出産できるよう支援体制の充実
- ▶ 安心して妊娠・出産・育児ができるよう面談や訪問等による相談・助言・指導を行うなど、妊娠婦と乳児の産前・産後の支援の充実
- ▶ 子育て世代包括支援センターにおいて、悩みを抱える妊娠婦に対して、保健師等の専門の職員が関係機関と連携を図りながら相談支援し、虐待の予防・早期発見に努めるなど、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援
- ▶ コロナ禍で、対面での相談が不安な妊娠婦に対して、非対面（リモート）で行い、安心して相談できる最適な環境の提供
- ▶ 乳幼児の健康診査を行い、必要に応じた発育・発達の支援

\*10. 要保護児童：保護者がいない児童、または保護者に監護させることが不適当と認められる児童のことです。

\*11. 幼保連携認定こども園：保育園と幼稚園の認可を持つ施設が、単一の施設として機能を果たす認定こども園のことです。

\*12. 病後児保育：子ども（生後6ヶ月から小学3年生）が発熱や下痢、感染症等の病気の回復期にあり、保護者が仕事等で家庭保育できない場合の保育です。

\*13. ファミリー・サポート・センター：育児の援助を受けたい人と育児の援助をしたい人が登録し、会員となり、会員同士が有料で援助し合う組織のことです。

\*14. 子ども家庭総合支援拠点：子どもとその家庭、妊娠婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行うもので、こども未来課内に設置しています。

\*15. ヤングケアラー：本來大人が担うと考えられている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものことです。

\*16. 子育て世代包括支援センター：保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・育児に関する様々な相談に對応し、必要に応じて保健・福祉・医療の関係機関との連絡調整を行なうなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うもので、中央保健センター内に設置しています。



- こんな事業を行っています** (事業は 2021 年度の事業を基にしています)
- 一時保育
  - 大字陀こども園長寿命化
  - 病後児保育
  - 棲原地域就学前施設整備
  - 子ども読書活動推進
  - 妊婦健康診査
  - 乳幼児健康診査
  - 三つ子の鶴百までプロジェクト
  - ファーストバースデー祝い品

**こんな計画が関連しています**

- 宇陀市子ども誘導活動推進計画
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- ウェルネスシティ宇陀市構想
- ウェルネスシティ宇陀市健康新づくり計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画

## SDGs



**施策の  
方向性**

**1-4 地域医療体制の充実**

**現 状**

- ▶ 医療介護あんしんセンターや介護支援専門員等と連携し、高齢者等の退院を支援
- ▶ 医療や介護に関わる多職種が情報連携できるネットワーク「宇陀けあネット」により、地域包括ケアシステムを推進
- ▶ 市立病院において、医師の確保及び地域医療部を開設し、訪問診療を実施
- ▶ 相次ぐ開業医の閉院により、大字陀地域では開業医が1院のみ
- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これらの宇陀市にとって必要な取り組みについて「医療体制の充実」を挙げる人がで二番目に多かったほか、2020年に実施した高齢者を対象としたニーズ調査においても、将来の心配ごと・困りごとについて、「病気や介護のこと」を一番に挙げる人の割合は 58.4% が多い
- ▶ 中期基本計画策定に向けた、子育て世代の人たちとの座談会で、子どもの急病に対応できる医療体制の充実を望む声があった

**課 題**

- ▶ 市立病院を中心に、医療機関や介護事業所等との連携の強化
- ▶ 開業医の高齢化・後継者不足による閉院により、開業医がない地域での医療の確保
- ▶ 医療や介護を必要とする高齢者等に対しての人材確保
- ▶ 子どもの急病に対応できる医療体制の充実

## 目指すまちの姿 1

### 施 策

#### ① 医療体制を充実します

- ▶市立病院が「面倒見のいい病院」としての役割を果たすため、地域包括ケアシステムの中核病院として、在宅医療や介護、民間医療機関等との連携を充実させ、奈良県東部地域の中核病院として機能の強化
- ▶市立病院は、県東部の「へき地医療拠点病院」として、国民健康保険直営診療所等への代診医派遣、訪問診療・訪問リハビリテーション等の取り組みの充実
- ▶奈良県立医科大学から市立病院への医師の派遣を受け、地域医療体制の強化
- ▶医療機関のない地域への移動診療車による巡回診療の実施
- ▶巡回診療をきっかけとした地域の集いの場など、高齢者が安心して生活ができる仕組みづくり
- ▶市立病院で勤務する常勤医師など、医療従事者の確保を図り、安心して暮らせる環境づくり
- ▶国民健康保険直営診療所において、地域の医療の確保を図るとともに、高度な医療が必要な場合、早期治療が行えるよう市立病院との連携の強化
- ▶休日や夜間における小児や妊婦等の救急医療について、県内で広域的に対応ができる体制の維持

#### ② 地域医療と福祉の連携を推進します

- ▶介護等を受けている治療の必要な人が、安心して病院へ入院し、回復後に切れ目なく在宅療養ができるよう、病院とケアマネジャー、地域包括支援センター等との連携強化と環境づくり
- ▶宇陀けあネットでの情報共有について、加入機関間の連携の強化
- ▶近隣市村の協力を得ながら、宇陀けあネットの充実



こんな事業を行っています (事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- 地域医療体制推進における寄附講座
- 小児深夜診療負担金

- 産婦人科一次救急体制整備負担金
- 医療介護連携 ICT 負担金

こんな計画が関連しています

- ウェルネスシティ宇陀市構想
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画

\*17. へき地医療拠点病院：へき地診療所等への代診医等の派遣、へき地医療従事者に対する研修、巡回診療等を行う病院のこと、宇陀市立病院は2021年度に奈良県から指定を受けています。

## 目指すまちの姿 2

2

# 暮らしやすいまち

### 施策の方向性

- 2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現
- 2-2 移住・定住の促進強化
- 2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
- 2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現



評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定期	中期基本計画 策定期		
人口の社会動態 (転入者数 - 転出者数)	-205人 (2017年度)	-194人 (2020年度)	-150人	まちの住みやすさが向上することによって、市外への転出者数が減少し、市外からの移住が促進されることで、社会動態の減少が小さくなると考えます。



## SDGs

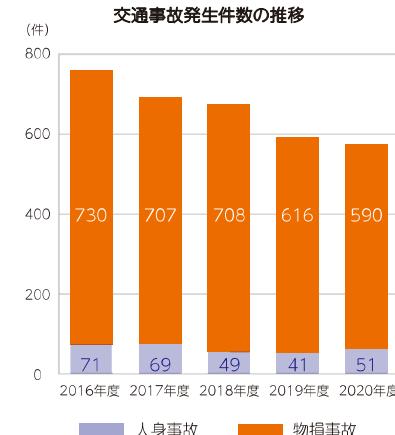


## 施策の方向性

## 2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現

## 現状

- 中期基本計画策定に向けた市民アンケート調査で、「宇陀市の印象・イメージ」について、約9割が「緑が多く自然が豊か」と回答
- 松山地区伝統的建造物群保存地区の歴史的街なみの景観を維持、活用するため、町家等の建造物の修理・修景に対して支援
- 2019年に実施した空き家等実態調査において、726戸が空き家候補と判定され、所有者に対するアンケート調査では、回答者の約6割が「空き家を売却したい」、「貸し出しをしたい」と回答
- 防犯や交通事故防止のため、各種関係団体による啓発活動等を支援
- 幅広い年齢層にスマートフォンの利用が普及している中で、通信販売に関わる消費生活相談が増加
- 通学路の安全確保を図るため、奈良県東部地域で初めてキッズゾーンを設置



## 課題

- 自然や歴史・文化と調和した景観形成や環境と経済が両立した住みやすいまちづくり
- 防犯や交通事故防止のための取り組みの継続
- 子どもたちを危険から守るために通学路等の安全の確保
- あらゆる年代に向けた消費者保護の啓発

## 施策

## ① 景観や環境を大切にするまちづくりを推進します

- いつまでも住み続けたいと思える自然環境に配慮した持続可能なまちづくり
- 松山地区伝統的建造物群保存地区や室生寺門前町など各地域の特性に応じた街なみ景観の維持
- 空き家等の所有者に対して適正な管理指導を行い、景観・環境への配慮や市民生活の安全対策、空き家情報バンクへの登録等の推進

## ② 交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します

- 通学路等の安全を確保し、交通事故の未然防止のため、キッズゾーンの設定や交通安全施設の整備
- 交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣づけるため、関連団体が行う啓発活動等の支援
- 子ども達の登下校時の安全確保など、地域による見守り活動の推進
- 空き巣等の犯罪に対し、防犯意識を高める啓発活動
- 犯罪を抑止するための防犯設備等の整備
- 地域と警察等が連携した地域防犯体制
- 高齢者等を狙った特殊詐欺やデジタル化による消費者トラブル等の被害を未然に防ぐため、関係機関との連携、相談窓口の強化、安全・安心メールでの情報提供等による消費者の保護



## こんな事業を行っています

- (事業は 2021 年度の事業を基にしています)
- 空き家情報バンク
  - 防犯灯整備
  - 消費者生活相談窓口開設

## こんな計画が関連しています

- 宇陀市空き家等対策計画
- 宇陀市都市計画マスタートップラン
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画

○奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画

○宇陀市過疎地域持続的発展計画

○特殊詐欺等防止機器購入補助

\*18. キッズゾーン：保育所等が行う散歩等の園外活動の安全を確保するため、車両の運転者に対して注意喚起することを目的として設定した道路の区段のことです。

## SDGs



## 施策の方向性

## 2-2 移住・定住の促進強化

## 現状

- ▶ 宇陀市では少子化の進展や転出者が転入者を上回る人口の社会減少が進行
- ▶ 新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式の浸透による地方移住への関心の高まり
- ▶ 定住促進に向けて、移住・定住者への住宅取得等に対する助成
- ▶ 公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の修繕・管理の実施

## 課題

- ▶ 働く場の確保のため、産業ゾーンとして位置付けられている市街化調整区域の土地の活用
- ▶ 宇陀市に关心を持つもらうための情報発信
- ▶ 移住・定住を促進するため、移住体験施設の周知及び利用促進
- ▶ 登録物件の増加を図るために、空き家情報バンク制度の周知

\*19. 産業ゾーン：既存産業の集積地や企業誘致・新産業の創出のための受け皿となる区域で、宇陀市都市計画マスターplanで位置付けている区域です。

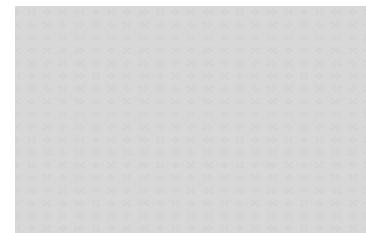
## 施策

## ① 土地利用を推進します

- ▶ 住宅地や商業地、工業地等の健全な発展と秩序ある整備の推進及び農地や森林地域などの自然環境の保全と活用
- ▶ 市街化調整区域における地区計画制度の活用による土地の有効利用や社会経済活動の推進
- ▶ 土地を有効利用するため、地籍調査の推進

## ② 移住・定住者への総合的な支援の充実を図ります

- ▶ 森原駅前交流施設や空き家を活用した移住体験施設「宇陀の魅力体験施設」等で宇陀市の良さを知つてもらい、体験してもらうとともに市外へも宇陀市の魅力を広く発信
- ▶ 関係人口の増加を図るため、移住や二地域居住、定住に向けた活動を行う団体の支援
- ▶ 空き家の所有者に空き家情報バンク制度の周知及び利用を図り、空き家の有効利用の促進
- ▶ 住宅の取得や、子育て・結婚等に伴う新生活の支援
- ▶ 独身男女の出会いイベントの支援
- ▶ 市営住宅の長寿命化に向け、施設の計画的な改善



## こんな事業を行っています

- (事業は 2021 年度の事業を基にしています)
- 地籍調査
  - 空き家情報バンク
  - 定住促進奨励金交付

## こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスターplan
- 余良県と宇陀市のまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市公営住宅等長寿命化計画
- 宇陀市立地適正化計画
- 宇陀市公共施設等総合管理計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

\*20. 市街化調整区域における地区計画制度：市街化調整区域の性格を変えない範囲で、無秩序な土地利用や乱開発を防止し、土地利用が行われることが確実な区域について、計画的かつ適切な土地利用を図る制度のことです。

\*21. 地籍調査：一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のことです。

\*22. 二地域居住：都市部と地方に二つの拠点を持ち、定期的に地方でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルの一つです。



## 施策の方向性

## 2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用

## 現状

- ▶ 橋梁やトンネル、道路の舗装面に経年による劣化が進行
- ▶ 国や県の道路計画において国道165号が中和津道路として位置づけられる
- ▶ 通勤や通学、通院、買い物等の移動手段となる市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等の運行に対して支援
- ▶ 少子化や人口減少の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、地域公共交通機関の利用者が減少
- ▶ 上水道は、(仮称)奈良県広域水道企業団の設立を踏まえて、計画的に事業を実施
- ▶ 人口減少や節水機器の普及等により、上下水道料金收入の伸びが停滞



## 課題

- ▶ 災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点や緊急輸送道路の整備
- ▶ 自動車を運転できない人のニーズを把握し、まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通について検討
- ▶ 人口減少や施設の老朽化等に対応する安定した上水道の経営基盤を構築
- ▶ 老朽化している下水道施設の更新

## 施策

## ① 安全で快適な道路環境を整備・維持します

- ▶ 市内道路網の維持及び安全性確保のため、市道の整備や維持補修に取り組み、災害時の緊急輸送道路としての機能の確保
- ▶ 橋梁やトンネルの計画的な長寿命化を図るとともに、落石等の危険の未然防止
- ▶ カーブミラーや防護柵、街路灯等の交通安全施設を整備し、安心して利用できる道路環境づくり
- ▶ 中和津道路が重要物流道路として指定され、整備促進がなされるよう、近隣自治体と連携し国や県へ働きかけの実施
- ▶ 県道の狭隘な区間の解消に向け、県への要望の継続

\*23. 緊急輸送道路：地震等の大規模災害発生直後から、救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うため、道路管理者等が事前に指定する路線のことです。

\*24. 最重要物流路：平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、物流上重要な道路輸送網として国土交通大臣が指定した路線のことです。

## ② ニーズに応じた地域公共交通を推進します

- ▶ 事業者、地域と一緒にした地域公共交通網の維持のため、市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等を運行する事業者等への支援
- ▶ 地域公共交通の運行効果を検証し、地域の特徴に応じた利便性の向上
- ▶ 小学生を対象とした「バスの乗り方教室」など、モビリティ・マネジメントの取り組みの充実
- ▶ 住宅地等において、いつまでも住み続けられるまちづくりの実現に向け、グリーンストロー・モビリティの導入に向けた実証実験の実施

## ③ 効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します

- ▶ 安全な水を安定して供給するため、給配水管の布設替えや配水池等の水情報を一元管理する遠隔監視装置の更新など、老朽化・耐震化対策
- ▶ 大宇陀本郷地区、菟田野大神・入谷地区において水道未普及地域の解消
- ▶ 安定した経営基盤のもとで持続的に水を供給するため、(仮称)奈良県広域水道企業団の設立促進
- ▶ 下水道施設のストックマネジメント計画に基づき、管路更生工事等を施工
- ▶ 施設の長寿命化を促進



## こんな事業を行っています

(事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- 市道舗装等維持補修
- 道路メンテナンス（橋梁点検、橋梁等長寿命化）
- 交通安全施設整備
- 奈良交通路線バス運行対策費負担金
- 轟原大野猿路行
- 大宇陀南部線（かぎろひバス）運行
- デマンド型乗合タクシー運行
- 水道未普及地域解消
- 水道施設遠隔監視装置整備
- 下水道管路更生

## こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市のまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市橋梁長寿命化修繕計画
- 宇陀市トンネル長寿命化修繕計画
- 宇陀市地域公共交通計画
- 宇陀市水道ビジョン
- 宇陀市水道事業経営戦略
- 宇陀市水道施設アセットマネジメント計画
- 水道事業等の統合に関する覚書
- 宇陀市流域賃貸公共下水道事業計画
- 宇陀市下水道ストックマネジメント計画
- 宇陀市下水道事業経営戦略
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市地域防災計画
- 宇陀市国土強靭化地域計画

\*25. モビリティ・マネジメント：過度に自動車に頼る生活から公共交通や自転車など様々な交通手段を「かしこく」使う生活へと自発的に転換することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のことです。

\*26. グリーンストロー・モビリティ：時速 20 km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のことです。

## SDGs



## 施策の方向性

## 2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現

## 現状

- 宇陀市は、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている
- 地球温暖化が原因とされる気象の急変や台風・集中豪雨等の自然災害の頻発化・激甚化に伴う被害リスクが増加
- 自主防災組織の結成や資機材の整備を実施
- 新型コロナウイルスの感染拡大が避難所の運営体制に影響
- 高齢者の増加に伴い災害時に支援を必要とする要配慮者は増加傾向
- 消防団体制の強化を図るため、消防車両を計画的に更新



## 課題

- 災害時における情報伝達の強化
- 住宅の耐震化の必要性について市民の意識の高揚、耐震化の促進
- 自治会や自主防災組織等の地域主体の防災訓練等を充実させ、自助・共助の意識の向上を図るとともに、公助を合わせた防災・減災体制の構築
- 感染症対策を講じた避難所の整備や資機材の拡充、備蓄品の更新
- 国や県と連携した土砂災害対策事業の推進
- 避難行動要支援者の早期避難や安否確認等の充実
- 災害時における関係機関との連携体制の強化

\*27. 要配慮者：高齢者や障がいのある人、乳幼児など災害時に特別な配慮が必要となる人のことです。  
\*28. 避難所行動要支援者：要配慮者のうち、災害時の避難行動や避難所等での生活が困難な人のことです。

## 施策

## ① 自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します

- 風水害や地震・新型コロナウイルス感染症等の情報を発信するため、CATVや安全・安心メール、ホームページ等の迅速な伝達手段の充実
- 今後、発生が予想される南海トラフ地震に備え、避難所となる公共施設やインフラ施設の耐震化
- 土砂災害特別警戒区域での土砂災害や大規模地震の発生時においても安全な暮らしを確保するため、既存の住宅の改修等に対する支援の充実
- 国や県と協働し、急傾斜地への崩壊防止施設の設置や地すべり対策工事、土石流等の防止のための砂防堰堤の設置等の防災措置の推進

## ② 防災意識の向上と防災・消防体制を強化します

- 地域の防災力向上のため、自主防災組織の結成や自主防災組織等の取り組みへの支援
- 地域内の連携強化と防災意識の向上を図るため、防災サポーター養成講座や官民共同による防災訓練等の充実
- 避難所の感染症対策を講じ、安全で誰もが健康を維持できるよう整備を進めるとともに、防災資機材の拡充とローリングストック法に基づいた備蓄品の更新
- ハザードマップの周知を図るとともに、避難行動要支援者など支援を必要とする人を安全に避難誘導できるよう、福祉専門職等と連携を図り、個別避難計画の作成
- 南海トラフ地震など大規模災害に対応するため、関係機関等と連携した支援体制の構築
- 消防団員の確保に向けた啓発活動を行うとともに、火災や災害時の安全を確保するため、安全装備品の充実や消防車両の計画的な更新を行い、防災力の強化



こんな事業を行っています (事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- 既存木造住宅耐震診断・改修支援
- 自主防災組織支援
- 消防機庫整備
- 地すべり対策
- 避難所設備強化

こんな計画が関連しています

- 宇陀市地域防災計画
- 宇陀市消防団組織再編計画
- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市耐震改修促進計画
- 宇陀市国民保護計画
- 宇陀市国土強靭化地域計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

\*29. インフラ施設：道路や橋梁、上下水道等の公共的な機能を担う施設のことです。

\*30. ハザードマップ：発生の予測される自然災害について、その被害が及び範囲、被害の程度、避難の道筋、避難場所等を表した地図のことです。